

夢中になって楽しんで！ 上丸子小の「まなんでたまらんど」

横山 里恵

今年度の「まなんでたまらんど」は、4年生から始まりました。上小サポーター（保護者）と中本賢さんにご協力いただき、上丸子小学校ならではの地域学習が幕を開けました。多摩川での草花や生き物との触れ合いに、子どもたちの「楽しくてたまらんど！」（そう聞こえてきそう！）の歓声が上がりました。「どこ？」「見せて！」「こっちにもいるよ！」と、時間を忘れ夢中になる子ども達でした。賢さんが「春は地面からやってくる」と言うと、子どもたちはさっそく手のひらを地面に当てて温もりを感じ、仲間と共有していました。こうした実感に基づいた感動や気づきは、大人になっても心に残る貴重な学びとなります。本校では、「まなんでたまらんど」や「アクティブ上丸子」といった活動を通して、特に探究的な学びを推進しています。昨年度までの上小サポーターの皆様との連携は、子どもたちの学びを深め広げる大きな力となりました。保護者の皆様からの「へえ！それ、おもしろいね。」「どうしてそう思ったの？」といった言葉かけは、子どもたちにとって学びの深化・発展へと向かわせます。そして、子どもたちが学習や遊びの中で見つける「好き」や「なんでだろう」という気持ちは、向上心や粘り強さにつながるエネルギー源になります。夢中になる瞬間を積み重ねることが主体的な学びへの一歩になると考えています。私たち教職員は、上丸子の地域資源を最大限に活用し、子どもたちが夢中になって学ぶ姿をこれからも探究・追求し続けます。「まなんでたまらんど」は年間を通じて全学年で実施されます。4年生に続き、5月は1年生、2年生、3年生も実施予定です。上小サポーターのお願いはミマモルメで配信いたしますので、可能な範囲でのご協力をぜひお願いいたします。



聴き方・話し方指標「ハピきき・ハピはな」 ～聴くこと話すことって楽しい！～



先日行われた授業参観、学校教育説明会および懇談会へのご来校もありがとうございました。2年生から6年生の授業参観では、新しいクラスの様子や学習環境をご覧いただいたことと思います。懇談会では、担任から学年・学級づくりへの思いや考えを共有させていただきました。子どもたちは今、これまでの歩みをもとに「なりたい自分」を思い描き、新たな学習や生活に挑戦を始めたところです。その決意は、教室に掲示された一人ひとりの目標カードや作品に表れています。校内巡回でそれらの作品を拝見するのが、私の楽しみの一つになっています。また、今年度から

養護教諭も朝の校内巡回を開始しました。欠席カードの回収を兼ね、登校時の子どもたちの様子や校内の衛生・安全面に目を配り、日々の気づきと改善に努めています。

「4月30日(木) 創立79年上丸子小学校開校記念日」

昭和22年（終戦から2年）、この上丸子の地に本校は誕生し、今年で創立79年を迎えます。先日、学校運営協議会会長さんと共に学区内を巡っていた際、「かみまるこの昔話」を地域の方からうかがうことができました。皆様のご近所やご家族に、当時のことやこれまでの町の移り変わりをお話して下さる方がいらっしゃいましたら、ぜひ聞かせていただけたら嬉しいです。来年80歳を迎える前に「もっと知りたい！わたしたちのかみまるこ」と、校内外問わず探究できたら嬉しいです。ちなみに、上丸子小学校の敷地は昔3つの町にまたがっていたとのこと!! 「二宮金次郎さんの位置」、「校長室の位置」、「西門の位置」、当時のそれぞれの町の名前はなんだったのでしょうか？ 79歳の学校と町の移り変わりを紐解いていくと、また一つ夢中になるものが増えそうですね。

